

## 第22回横断山脈研究会(総会)

### 開催のお知らせ

この1年の活動報告と情報交換を目的に、第22回研究会(総会)を下記の要領で開催します。  
 待望の『ヒマラヤの東 山岳地図帳』も刊行でき、いろいろな成果や経験を、皆さんと共有できれば幸いです。  
 琵琶湖の畔、大津でお会いしましょう。ぜひ、お集りください。

■期 日 2016年3月26日(土)～27日(日)

■会 場 ホテルピアザびわ湖(〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 Tel.077-527-6333)

会議=ピアザ淡海304号室(26日は会議室にお集まりください。)

■日 程 3月26日(土) 13:00

受付(会費徴収・レジメ配布)

13:30～13:40 開会挨拶ならびに伝達事項説明

13:40～13:55 「日中合同念青唐古拉西山群登山隊報告—パタリ峰(6516m)試登、タリ峰(6330m)初登頂」

13:55～14:40 「念青唐古拉西山群 山座同定」(井上達男氏)

15:00～15:40 「アルナーチャル・ブラデーシュ、タウン行(仮)」(渡部 秀樹氏・辻 和毅氏)※未確定

15:50～16:30 「ラダック(インド・ヒマラヤ)最南部のツォー・モリリ」(阪本公一氏)

16:40～17:00 「2015 モンゴル紀行」(城 隆嗣氏)

18:00～ 夕食・懇親会(情報交換)

3月27日(日) 7:00～

起床

7:15～ 8:50 朝食・散策(近くに「なぎさ公園」「膳所城跡」などがあります)

9:00～ 9:40 「ラダックとザンスカール、その自然と文化—附:探検史と近年の激変・チベット密教の今」(長岡正利氏)

10:00～10:40 「2015—2016 回顧と展望」(中村 保氏)

10:50～11:20 「UIAA・UAAA年次総会(仮)」(小野寺 齊氏)

11:20～11:35 会計報告・会務に関する事項など

11:45 閉会、解散(原状復帰)

12:00 ご希望の方だけで、昼食のあと石山寺もしくは三井寺へ(オプション)

\*日程は変更になる場合があります。

■集 合 時間までに、会場へお越しください。(下図参照。)

■会 費 17,000円(会場・宿泊・食事・懇親会・通信・資料費含む)

【年会費=6,000円(2016年度)も一緒にお願ひできれば幸いです。】

■申込方法 準備の都合がありますので、同封のハガキにて2月25日(金)までに事務局へご返送【必着】ください。

\*一緒に参加される方も歓迎!

人数とお名前・ご住所・電話番号を  
お知らせください。

\*1日だけの参加も可能です(お問い合わせください。)

■お問い合わせは——横断山脈研究会事務局

〔E-mailアドレス=zhu@iris.ocn.ne.jp〕

〒520-0113

滋賀県大津市坂本8丁目13-12 竹内康之方

電話 077-579-7334

ファクス 077-577-3454

会場の都合で  
締切りが早まっています。  
お間違えにならないよう  
ご注意ください。

●ホテルピアザびわ湖へのアクセス

→JR東海道本線(琵琶湖線)「膳所(ぜぜ)」駅(「京都」駅から3駅目、「快速・普通」停車駅)下車  
湖側へ徒歩約15分

→JR東海道本線(琵琶湖線)「大津」駅(「京都」駅から2駅目、「新快速」停車駅)下車

近江鉄道バスなぎさ公園線「大津プリンスホテル」行(1時間1～2便)で約8分

「ピアザ淡海」バス停下車すぐ

→京阪石山坂本線「石場」駅下車

湖側へ徒歩約5分

→名神高速道路「大津」ICから

湖側へ約10分(地下駐車場あり)

●会場への案内図



・「京都」駅⇒新快速⇒「大津」駅(9分)  
 ・「京都」駅⇒快速・普通⇒「膳所」駅(11～12分)  
 ・「三条京阪」駅⇒地下鉄東西線・京阪京津線⇒  
 「浜大津」駅⇒京阪石山坂本線⇒「石場」駅(30分)

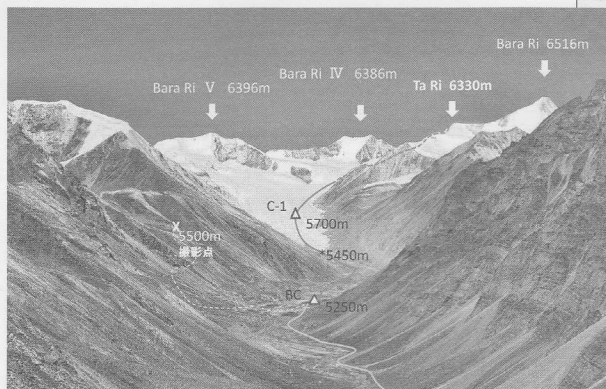
石山寺

# Ta Ri 峰(6330m)

初登頂

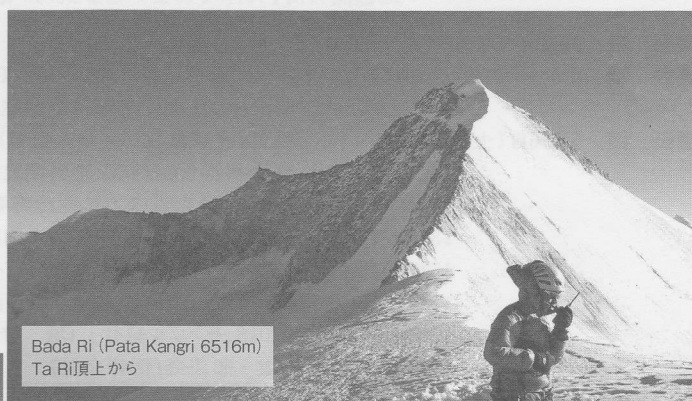
神戸大学山岳会登山隊

Nyainqentanglha West  
Qungmo Kangri / Xoggu La  
2015/12/29 ACKU Tim Inoue



2015年10月27日、6人のアタック隊はAM9:02にTa Ri (6330m) の頂上に達した。眼前にBada Ri (6516m) が迫っていた。

岩交じりの稜線が頂上まで標高差約150mで続いていたが、精鋭3人が頂上目指して狭い稜線に踏み



Bada Ri (Pata Kangri) 6516m  
Ta Ri頂上から

Bada Ri V  
6396 ↓

Bada Ri IV  
6386 ↓

Bada Ri III  
6410 ↓

Bada Ri II  
6409 ↓



Bada 氷河奥ノ院、Circに林立するBada Ri Group。  
初めて明らかになった山々である。(Ta Ri頂上から)

ACKU 2015

出したものの、日射により昇華してすっかり溶けた積雪から現れた露岩が緩み重なり合い、今にも崩れ落ちそうに行く手を阻んでいた。

机ぐらいの岩がケルンのように積み重なって、ザイルのアンカーも取れない。そして足をかけるとグラグラと崩落しかける。3人は少し進んだところでそれ以上の前進を断念した。

Ta Ri峰の初登頂に甘んじて、Bada Ri峰の登頂は無しえなかった。

〔『神戸大学山岳会 登山隊』の速報から〕

◎詳しくは3月26日の総会で発表していただきます。

## ◆新資料

提供者=中村

“HIMALAYA No.475 2015 Winter”

日本ヒマラヤ協会 B5判 モノクロ 2015年12月

・雲南カトリック教 (第二章)



## ◆新入会員

劉 勇

中国四川省成都市温江区花都区大道西段588号  
七彩花都B区一期4-5-1

Tel.+86 1398094 1332/E-mail 369300383@99.com